

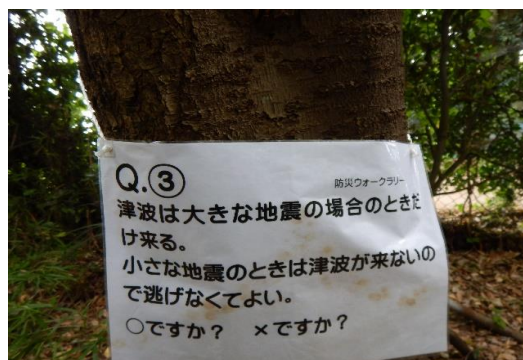
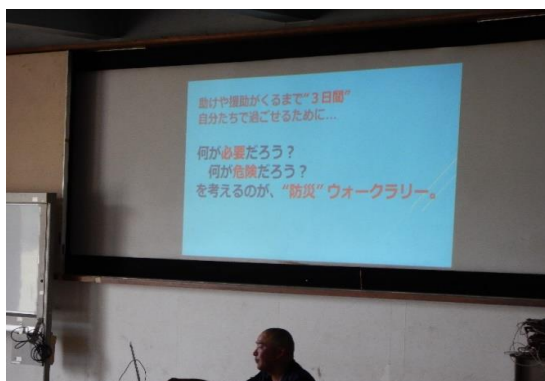


「防災ウォークラリー」

取材

概要： 初声中学校1年生が、ふれあいの村で、防災ウォークラリーを行った。

中学校1年
総合



実施内容

1. **実施校** 初声中学校
2. **目的** 実際に津波や地震が起きた場合にどのような行動をとれば生き延びることができるのか、考える機会を持つ。
3. **内容** 三浦ふれあいの村で津波の話、生存の話を聞いてウォークラリーを行う目的を知る。ウォークラリーで建物のカード、質問の書かれたカードを集め、ふれあいの村内の教室でカードについて話し合う。
4. **日時** 平成28年 5月25日(水) 9:30～16:00
5. **場所** 三浦ふれあいの村 全域
6. **参加者** 1年生約87名
7. **指導者** 三浦ふれあいの村職員、初声中学校教員
8. **持ち物** 筆記用具、ウォークラリー用ペーパー
9. **参観者** 研究所職員

当日の様子

○「3日間生き延びれば救助される可能性がかなり高い。この3日間、どう過ごす？」生徒たちは、講師が提示する東日本大震災の瓦礫だらけの写真や説明を真剣な面持ちで聞いていた。

○ふれあいの村全域に張り付けた施設のカード、質問の書かれたカードを探し出し、グループごとに配布されたカードに施設の名前、質問の答えを記入した。「楽しい！」「広い！」「見つからない！」様々な意見を耳にした。「他のグループと比較する機会があり、地震や津波に関して考える良い機会になった」という声もあった。